



小川村章

小川村議会報
第216号

議会だより

発行日 令和8年4月24日
 発行 小川村議会
 〒381-3302 長野県上水内郡
 小川村大字高府8800番地8
 TEL (026) 217-1246
 FAX (026) 269-3578 (代)
 メール: gikai@vill.ogawa.nagano.jp
 発行責任者 西沢哲朗
 広報公聴常任委員会
 印刷 中外印刷㈱

幼年消防クラブ「防火の誓い」



令和8年4月18日 小川村消防団出初式

令和8年3月定例会

新年度予算・

補正予算等を可決

2/4

議案賛否一覧表

5

研修会報告

5

議会運営研修会

5

広報クリニック

5

一般質問(質問順)

新井 幹夫 議員

6

和田 一秀 議員

7

峰村 正一 議員

8

坂井 正 議員

9

大久保 利廣 議員

10

山本 陵 議員

11

松本 敏照 議員

12

小林 和人 議員

13

常任委員会活動報告

(閉会中の調査)

総務建経常任委員会

14

社会文教常任委員会

14

語る会の意見提出

15

議会の動き

15

議長雑感

15

村民の声

16

編集後記

16

令和8年度 当初予算を可決

一般会計総額 31億5400万円

前年度当初比 2.2%減

村議会
3月
定例会

令和8年3月定例会は2月24日から3月12日までの17日間開かれ、専決処分事項の承認1件、人事案1件、条例案4件、事件案2件、補正予算案4件、新年度予算案7件の全19件について審議し、原案通り承認・可決した。

一般質問は8名が登壇して質問した。

新年度予算の概要

令和8年度一般会計予算は31億5400万円、前年度より7000万円、2.2%減となり、骨格予算ではあるが、前年同規模の予算となった。

歳出では、橋梁点検及び長寿命化計画策定に4000万円、小学校給食費保護者負担軽減600万円、長野市営バス負担金780万円を計上、乳幼児等通園支援事業、すこやか成長祝い金の増額支給等による子育て支援、小川村過疎地域持続的発展計画の変更等の事業を盛り込んだ内容となった。

一般会計予算

歳入では、村税1億8742万円、地方交付税等19億1890万円、国库支出金及び県支出金合計で3億3824万円、基金繰入金は2億4358万円となった。

議会費

執務室の設置、デジタル端末サポート等で6%増。

総務費

基幹系情報系システム料、村づくり推進事業、県知事・県議会議員選挙費等で12%減。

民生費

新規に補聴器購入費補助50万円、社会福祉協議会交付金、集落支援事業等で6%増。

衛生費

すこやか成長祝い金事業234万円、パッカー車購入1200万円、火葬場運営事業等で6%減。

農林水産業費

鳥獣被害防止柵設置事業424万円、地域農林業活性化推進事業、農業物成就加工所改修等で8%増。

商工費

星と緑のロマントピア事業3223万円、道の駅指定管理料等で10%減。

土木費

道路維持補修事業、鶴牧田施設修繕等で前年度並み。

消防費

県防災行政無線更新事業終了等で14%減。

教育費

スクールバス事業、ALTT帰国・赴任旅費、LED化改修、GIGASKUール端末購入等で2%減。

災害復旧費

公共土木施設災害復旧費等で前年度同額。

令和8年度一般会計・特別会計・公営企業会計予算額

単位：万円

会 計	令和8年度	令和7年度	増 減	増減率	
一 般 会 計	31億5,400	32億2,400	△7,000	△2.2%	
国民健康保険 特別会計	事業勘定	3億973	3億1,989	△1,017	△3.1%
	直診勘定	1億42	9,738	304	3.1%
	歯科勘定	3,974	3,872	102	2.6%
村営バス事業特別会計	4,498	4,187	311	7.4%	
介護保険特別会計	4億8,059	4億7,944	115	0.2%	
後期高齢者医療特別会計	5,322	5,041	280	5.5%	
簡易水道事業会計	3億4,742	3億7,999	△3,257	△8.6%	
下水道事業会計	2億9,279	3億3,300	△4,021	△12.1%	

千円以下四捨五入

令和8年度予算

一般会計予算

賛成討論

大久保利廣 議員

令和8年度一般会計予算総額は前年度比97・8%の31億5400万円、村長選挙を控えているため、骨格予算である。

議会費の一般経費、デジタル端末サポート業務費160万円は議会活動の活性化や議会改革につながるものと考ええる。

総務費の地域公共交通維持確保事業の長野市と共同運行の市営バス事業への負担金780万円は交渉の結果、現状より増便となり、日常生活に必要な便を確保しており評価する。

園芸特産振興事業の鳥獣被害防止柵設置事業では前年度比164万円増の424万円が計上され、鳥獣被害状況から賢明な措置である。

観光費の道の駅指定管理料400万円、並びにロマン館の994万円は

赤字分の補填であるが、村の玄関口であり、観光の拠点でもあるので経営改善を図り、村も指定管理設置者として、指導や支援をするべきである。

小学校の給食材料費が1375万円で前年度比814万円の増額は保護者負担軽減になる。今後は中学校の給食費についても検討されたい。

自主財源が少なく、財源不足のため目的基金2億4350万円を繰入する厳しい予算編成である。経費削減を図り事業執行を要望し、賛成討論とする。

山本 陵 議員

補助金という問題に関し、補助金頼りになると事業性としての意識を失わせてしまい、継続性が乏しくなるといふ弊害もある。

また、税金に頼らない収入を増やす工夫と財産活用、ふるさと納税など独自の取り組み、持続可能な財政運営が必要である。社会経済情勢の変化に伴い求められる役割は大きく、柔軟な対応が求

められる。

職員の確保、欠員補充等により行政サービスを維持し行政改革を進める必要があることを申し上げ、賛成討論とする。

和田 一秀 議員

歳出では高齢者向け補聴器購入補助金、総務費では交通安全対策で交通災害共済掛金の全村民分の負担87万円の他、街路灯のLED化予算。

また空き家の活用推進事業、廃屋解体事業、空き家改修事業の補助金は合計で360万円増額され980万円となった。

衛生費の子育て支援では、すこやか成長祝い金、1子2子に対し10万円に増額され234万円の予算である。

人事院勧告や会計年度任用職員の賃金の見直し等、人件費が増額され、限られた予算の中では、的確であると認識し、賛成討論とする。

峰村 正一 議員

教育費の備品購入で、ギガスクール構想によるパソコン購入事業は、教

育の充実と向上に大いに期待する。

商工費の道の駅指定管理者の件は、物価高騰により、村の負担金が増える事態となっている。ロマン館を含め、行政の強い指導力とリーダーシップを期待して、賛成討論とする。

小林 和人 議員

令和8年度予算において財源は脆弱で、5・9%、約1億8700万円の村税収入から始まり、地方交付税56・3%の17億7500万円、7・7%を占める約2億400万円の基金繰入と、財源依存割合が高く、財政基盤が脆弱である。

基金を取り崩して計上されており、単年度収支で計上されている公営企業会計においても、年度末の債務増加が懸念される。上下水道事業の財政計画が見えず、資産状況の把握も不十分の中で、小規模自治体の維持存続に疑問が生じている。国

策の方向性についても、今後の遂行方法に不安が残る。行政と議会が連携

し、県とも協議を重ねながら、より良い村づくりを目指す必要がある。以上を申し上げ、賛成討論とする。

簡易水道事業会計予算

賛成討論

小林 和人 議員

毎年の建設的資本改善に向かい投資していく中、基幹改良のみならず各種全般にわたり、各々の対応、シミュレーションを持ち、今後の財政対応に対処すべき事を指摘し、賛成討論とする。

込取引の取り扱いが重要となる。

例えば、国税庁の資料を見ると、税率の適用が6・24%と7・8%に分かれ、課税標準額計算さらに、全課税機関における補助金収入の状況や特定収入に関わる課税仕入れなどの調整税額の計算、控除対象外仕入れに関わる調整対象額の計算、控除対象仕入額の計算、納付税額の計算というように大変複雑なものとなっている。

下水道事業会計予算

賛成討論

山本 陵 議員

公営企業は地方公営企業法に基づき消費税の適用を受けることができ

る。この公営企業会計は、一般的な法人会計とは異なり、消費税の申告が特に難易度の高いものとなっており、非課税、課税取引の区分や税抜き、税

今までのやり方という事ではなく、熟慮された事は大きな一歩と考える。今後において、事業継続のためには、老朽化した設備、管路の改修含め、さらなる計画の精査が求められる。

山積する課題に対し、先延ばしにするのではなく、しっかりと向き合うことを指し、賛成討論とする。



令和7年度補正予算

一般会計補正予算

(第8号)

- ・財政調整基金積立金 1億41万円
- ・戸籍附票システム改修 256万5千円
- ・公営住宅建設事業 180万円

賛成討論

和田 一秀 議員

減債基金積立金471万5千円、小川荘循環ポンプ修理料、直営歯科診療所施設勘定1216万5千円の減額もあり、年度当初予定されていなかった必要最低限で、適正な補正予算案と考え、賛成討論とする。

小林 和入 議員

7年度当初予算の財政調整基金1億5千万円の繰り戻し及び公債費の償還金に見られている。依存財源運営に変わりはないが、今後の維持・存続に繋がっていく案件と捉え賛成討論とする。

国民健康保険特別会計

補正予算(第5号)

- ・事業勘定 1216万5千円
- ・直営診療所施設勘定 44万円

介護保険特別会計

補正予算(第5号)

- ・介護予防マネジメント事業 20万円

簡易水道事業会計

- ・事業費用 42万9千円

条例の制定

議案第11号

小川村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

賛成討論

坂井 正 議員

条例に基づく職員の教育について、最低基準の向上及び人権の尊重を目指すこと。安全計画の策定により、月1度の避難訓練で伝達訓練及び災害時備品の見直しを実施すること。病中病後児保育の支援の取り組みとして、広域医療施設との連携に配慮することをお願い

いし、賛成討論とする。

山本 陵 議員

この制度は保護者の就労状況にかかわらず、6ヶ月から2歳児の子供を一時的に保育園に預けられる制度で、育児に疲弊する保護者への支援となる。

令和6年度から全国1

50の自治体で試験導入が進められたが、懸念される問題点としては子供への影響として、人見知りや不安、子供への精神的負担、保育の質の低下がある。

保育を受けることは全ての子供の権利という共通認識のもと、子供、保育者、保護者、地域社会が参加して、形作る民主主義を原理とした保育制度を作っていく事が必須である。2歳以上の子供の保育の必要性が認められた事は前進であると考え、賛成討論とする。

松本 敏照 議員

この制度は子育て世代の保護者が安心して働きながら子供を預けられる環境を整えることを目的

としていて、

育児教育や訓練を受けた保育士が子供たちの安全確保や適切な経営を行うことで保護者の不安を軽減し、若い世代の定住や子育て環境の向上を期待し、賛成討論とする。

過疎地域発展計画

議案第15号

小川村過疎地域持続的発展計画の変更について

賛成討論

山本 陵 議員

人口減少・少子高齢化が進む小川村において、村の自立性と持続可能性を高めるための総合的な施策の枠組みとなる。

重要視されるのが関係人口で、移住定住はしないものの、継続的に多様な形で地域に関わる人々、例えば、週末だけ農作業を手伝う、地域の祭りに参加する、ふるさと納税で応援等の人を増やし、多様な関わりをデザインし、地域内外の人々が連携することが新たな活力を生み出す鍵となる。

る。

国、県、村、行政だけでなく、企業、NPO、大学、そして住民一人ひとりが当事者意識を持ち、行動することが不可欠で、未来は「創る」ものであり、与えられるものではなく、多様な主体が連携し、知恵を出し合うことが必要である。

行政主導だけでなく、ビジネスのマーケティングの視点や人を集めるためのコンセプトなどの要素を取り入れるため、計画段階から官民一体で検討する必要がある。

この計画は必要不可欠であり、賛成討論とする。

計画全体を通して、抽象的な表現が多く、解釈に戸惑う可能性がある。内容の精査が必要で今後、計画の内容をより深く理解するための議論が必要である。以上を課題として、賛成討論とする。

小林 和入 議員

5年ごとの見直しは現状により即したもので、より良い村づくりを目指す

すことである。

産業推進と活性化のため、より具体的な内容と裏付けが欲しいと感じる。政策とともに施策をもつて示すべきである事を申し上げ、賛成討論とする。

広域連合規約の変更

議案第16号

長野広域連合規約の変更について

賛成討論

小林 和入 議員

特養老人ホームについて、より良い環境への対応と管理運営に向けて、広域連合の一連の動きに賛同し、賛成討論とする。



令和8年3月定例会 議員・議案ごと賛否一覧表

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 (議長は議決権はないため空白)

議案番号	議案の内容	審議結果	坂井 正	新井 幹夫	塚田 綾子	和田 一秀	小林 和人	大久保利廣	山本 陵	峰村 正一	松本 敏照	西沢 哲朗
3月定例会												
9	専決処分事項の承認を求めることについて (令和7年度小川村一般会計補正予算(第7号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	小川村固定資産評価審査委員会委員の選任について (塩沢 楠 正敏 氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	小川村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○ 賛成 討論	○	○	○	○	○	○ 賛成 討論	○	○ 賛成 討論	
12	小川村税条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	小川村すこやか成長祝金支給条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	小川村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	小川村過疎地域持続的発展計画の変更について	可決	○ 賛成 討論	○	○	○	○ 賛成 討論	○	○ 賛成 討論	○	○	
16	長野広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○ 賛成 討論	○	○	○	○	
17	令和7年度小川村一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○ 賛成 討論	○ 賛成 討論	○	○	○	○	
18	令和7年度小川村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	令和7年度小川村介護保険特別会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	令和7年度小川村簡易水道事業会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	令和8年度小川村一般会計予算	可決	○	○	○	○ 賛成 討論	○ 賛成 討論	○ 賛成 討論	○ 賛成 討論	○ 賛成 討論	○	
22	令和8年度小川村国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	令和8年度小川村営バス事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	令和8年度小川村介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	令和8年度小川村後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	令和8年度小川村簡易水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○ 賛成 討論	○	○	○	○	
27	令和8年度小川村下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○ 賛成 討論	○	○	

陳情	提出者	付託委員会	審議結果
陳情3号 「最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	・長野県労働組合連合会 議長 細尾 俊彦 ・長野地区労働組合総連合 議長 阿藤 仁	総務建経 常任委員会	継続審査

研修会報告

議会運営研修会

1月20日(火)

ホテル国際21

県町村議会議長会主催の議会運営研修会に正副議長、正副常任委員長、議会運営委員長の8名が出席した。

講師は、全国町村議会

議長会事務調査部参与の平野誠氏で、全国の町村議会の事例から、議会の運営方法の考え方を解りやすく講演していただいた。改めて基本の復習もすることができ、有意義な研修となった。
(和田一秀)

町村議会広報

クリニック研修

2月17日(火)

全国町村議会会館

全国町村議会議長会主催の町村議会広報クリニック研修に広報公聴常任委員の6名が出席した。

講師は議会広報ファシ

リテーターの熊本学園大学招聘教授 越地真一郎氏で、5町村の議会広報誌を事前に読み、参加者からのコメントをまとめたものを基に討議をした。行政広報誌の補足ではなくて、議会の動きがわかるような工夫や議員個人を身近に感じてもらうためのアイデアや取り組みを知った。

内容の刷新や全ページカラー化に向かう、このタイミングで「見出し」の重要性や作り方のポイントについても参考にしたと思った。

(塚田綾子)



議案の審議について学ぶ町村議会議員



村道へガードレール設置は 村民の安全を守るために必要だ 村長 新年度、現地確認をして設置する

問 自立の村づくりを進める村を応援したい、住民の声を村政に反映してもらいたい気持ちを含め、今期、定例会に私は、2点の質問を行う。村には十分な財源がないので、工夫と効率化で振興計画に掲げた目標に近づいて貰いたいと思っ

て。一点目、村道の交通安全について質問する。

村の振興計画では、国道・県道・村道について現況が述べられており、目標計画が記述されている。交通安全施策についても、現況・課題が記載されている。

私は、災害復旧箇所のお路肩にガードレールの設置が早急に必要箇所があると、令和6年9月定例会に質問した。

その時点の答弁から、早期の設置が可能と思われたが未だに出来ない。何故なのか、いつ出来るのかを伺う。

村長 災害復旧した道路へのガードレールの設置

についてという質問であるが、災害復旧については現状復旧が原則であるため、災害発生前にガードレールがなければ基本的に設置が出来ない。そのため現在のままとなっている。

令和4・5年連続した災害からすでに3年が経過しているが、県の完了検査と成功認定も先ごろ完了した状況。新たにガードレールの設置の必要性がある箇所を、新年度に危険を感じる箇所を確認、選定をしながら設置をしてまいりたいと考えている。



早期にガードレールの設置が必要と思われる災害復旧村道

問 災害復旧箇所から、事故が起きて村民に被害

が起きないように、新年度に向けて十分把握して対応してもらいたい。担当課長に意向を伺う。

建設経済課長 ただ今、村長が申し上げたとおりである。今後、会計検査等も5年以内にある可能性はあるが、対応してまいりたい。

問 村道の路面の不陸や、穴あき対策について、雪解けが進むと不陸や穴あき箇所も沢山発生する。

毎年同じ箇所を同じ工法で修理しているが、費用対効果を考えて実施して貰いたいと思う。

地区要望からの把握確認だけでなく、現地調査を基本に対応して貰いたいと思うが、考えを伺う。

建設経済課長 村内からの地区要望の中で道路修繕が多く出される。穴があいたりする場所は排水が関係していると思われるので、よく現場を見て、調査した中で、対応した

と思う。

問 現場主義を徹底してもらいたいと思う事を伝え、二点目の質問を行う。大洞にある、農物産館について、現状を踏まえ、今後どうしていくのか伺う。

村長 農物産館については、指定管理を募集した。問い合わせや興味を持つ方もあったが、決定には至らなかった。募集期間も延長して対応もしたが、手を挙げる方がおらず、決まらなかった。

観光地の大洞の中でもいい位置にあり、有効利用できるよう、早々に再募集をしたいと考えている。

問 新年度早期に指定管理者が決定し経営が始まる事を望む。

現在、ロマン館を運営している指定管理者、小布施町のオーガニックリゾートホールディングスに、農物産館の指定管理についてかどうかと、問

いかけをしてみることが良いと思うが、考えを伺う。

村長 昨年の4月から、ロマン館の指定管理者はオーガニックリゾートホールディングスになった。その時に農物産館という施設について、経営状況等の話をしたが、状況によって、農物産館まで手が伸ばせるかどうか、判断できないので、ロマン館に集中して経営したいとのことであった。

1年前の話になるので、改めて一般公募をする時は、オーガニック側にも提案をしていきたいと考える。



指定管理者が決まらない農物産館



大久保橋梁工事の 通行止め期間は

村長 6月上旬着手、一時全面通行止

問 令和8年度、大久保橋梁工事に伴う通行制限について、期間、交通規制、特に全面通行止めの期間と範囲を伺う。

村長 橋の上部工事は既に発注済で6月上旬着手、竣工予定は12月末で、橋桁を設置する際、大型クレーンが設置される1週間程の交通制限を予定している。

床板、地覆の設置などの工事に伴い、6月から3〜4カ月の間、工事車両の進入などで片側交互通行などの通行規制が必要になる。

4月中に地元説明会を予定している。



完成した大久保橋の橋台

振興作物の雑穀の 補助事業

問 令和8年度予算で引き続き雑穀生産推進事業の予算を計上している。今後この事業を継続していくのか伺う。

村長 村の歴史的な雑穀作物なので、是非振興していきたい。農家の方は積極的に栽培に取り組んでいただきたい。

問 村内の雑穀加工業者の方が怪我で一時休業した際、将来的の存続を危ぶむ声があった。雑穀の加工業者を村内で新たに育成する事や、補助をする考えがあるか伺う。

村長 後継者を探していることも知っている。行政では、その事業を引き継げないし、加工業者に補助もできない。推奨作物として補助をしているので出来ることを支援していく。

問 村が直接取り組むことは無理であろうと推測

するが、調査したところ、小規模であれば100万円以内、大きくて200万円以内で類似した機械が国内に存在している。民間業者への補助が無理なら「農林公社みらい」で雑穀の加工業務について、事業継承として取り組むことが出来ないか理事長である副村長に伺う。

副村長 今の加工業者は細やかな要望に対応して微調整をして脱皮・製粒・製粉をしていることを聞いている。貴重な加工所であると認識している。

事業を引き継ぐことを想定すると逆に細やかな調整作業が取り組みの高いハードルだと考える。

緊急医療連絡体制の 住民への周知

問 新町消防署小川分署が開設され、救急医療・消防・災害対応に関して安心している。

土日・夜間、役場直に緊急連絡があると医

師・看護師等に対応することになっている、実情を伺う。

また、119番通報をした場合、長野市消防局の緊急指令室につながるという事を村民、特に高齢者の方が認識しているのか、周知状況を伺う。

村長 現在でも時間外・休日の際、役場に連絡があった場合、本人の希望で診療所看護師に連絡して対応している。

119番への連絡についても、高齢者の方が困ったとは聞いていない。

ゴミステーションの 設置基準

問 ごみステーションまでの距離が遠く、高齢化が進む中で集落近くに新設・移動が可能か、設置の基準を伺う。

村長 現状村内の78組に100カ所ある、設置場所は組で相談し、個所数を含め要望してほしい。ごみ収集作業時に通行

への支障、収集車の停車できる場所も考慮し、要望に対応していきたい。



ゴミステーションの設置例

問 設置場所の改善と併せて、村内には生活援助の制度等があると思うが社会福祉協議会等への委託状況について伺う。

住民福祉課長 介護保険制度に基づき認定を受け、訪問介護の生活援助サービスとして提供できる。

生活支援ホームヘルプの活用が出来るか進めていきたい。





令和8年度予算案について

村長 骨格予算を前提、国、県、に關係する事業等新たに予算化したものもある

問 令和8年度予算について力を入れた新年度予算案を伺う。

村長 骨格予算を前提に政策的な予算等については計上していない。要望等も踏まえ新規事業、国、県、關係する予算化した。

橋梁点検及び長寿命化計画策定に4000万円、小学校給食無償化に600万円、長野市営バス負担金780万円、交通災害共済は全村民に公費負担として計上。

鳥獣被害防止柵設置補助事業は、個人設置共同設置の区分を外し、全ての鳥獣被害防止柵設置者に3分の2の補助で、個人の場合は10万円から20万円に拡充する。

新たな補助事業として、補聴器購入費の補助として上限5万円、区への交付金拡充として2万円から3万円等である。

問 簡易水道施設、水資源について、成就浄水場、薬師浄水場はダム・沢からの漂流水を取水している。

る。塩沢浄水場は、複数の湧き水を取水しており塩素による滅菌消毒処理で水道水を供給している。

村長 桐山水源地、鳥立水源地、薬師水源地の土砂堆積、堆積物等の除去はどのようにしているのか伺う。

村長 いずれも常に上流から流れている水を取水しているので堆積物除去等はしていないが、取水口付近の堆積物の除去作業等は随時行っている。

問 大雨等があった場合の手立てを伺う。

村長 現地に行つて取水口をとめてしまう。雨の状況等にもよるが、月に2〜3回は取水口の現地調査を行う状況。



薬師浄水場

問 桐山、鳥立、薬師の何れの水源地も、塩沢浄

水場のように湧水を取水は出来ないのか伺う。

村長 湧水を取水するという事は現時点では考えていない。

問 昨年の夏は記録的な猛暑が村でも17日間連続を記録した。あと3、4日猛暑が続いて、湯水状態が続いた場合、塩沢浄水場の対応策を伺う。

村長 塩沢地区の湧水と立屋沢にある町稲荷地区の湧水2か所で取水している。現在、8対2の割合で村側が8割を頂いているが、昨年は地域の方々にお願いをして10対0で村側が10割を頂いた状況であった。

問 飯縄山裾から湧水は、農業用水、非常用水として使用されているが、稲作の灌水としての使用期間は7月末までの4ヶ月で概ね終わり、後は余水口から出ている。

薬師水源地での送水が一時的にできない場合、

復旧までの応急対策として、今後のことも考え、その水を利用する事も必要と思うが、考えを伺う。

村長 異常気象など湯水状態が続いた場合、地域の皆様方のご理解を得られるのであれば、緊急対応、対策として可能だとすれば村営水道に繋がられるような事は大変重要なことと改めて感じた。

問 ここに保育園裏の、裏山わんぱくの森側の竹藪は、わんぱくの森の方に倒れ掛かっている状況にある。地権者は2名。東側から北側にかけての藪払いをお願いしたいと思う。要は、緩衝帯整備を行えば、園児が安全に遊べると思うが考えを伺う。



わんぱくの森

住民福祉課長 年に2回程、人材活用センター、保護者会において草刈り等の整備を進めている。昨年は近くで熊出没があり、使用を控えた状況。

村長 小学校、保育園等の緩衝帯整備は森林譲与税が財源。現場の声、現場職員と協議検討したい。

問 クラインガルテンは現在7組の方が待ちの状態。古い今の施設を整備し、家庭菜園付きクラインガルテンを2〜3棟建設したらどうか考えを伺う。



クラインガルテン

村長 増築新築等の検討してきた経過はないが、改めて必要だと感じた。土地も踏まえ検討を進めたい。

家賃の値上げについては建物の老朽化等もあるので考えていない。



市営バスの利用促進は

村長 通院通勤通学等に

大いに利用してほしい

問 昨年当初、アルピコ交通より路線バスの減便、廃線の通知がされた。公共交通連絡会議が開かれ、今年四月から長野市営バスの運行が決まった。私の初引発7時20分のバスの利用者調査では、バステイ高府まで、約12名の利用があった。市営バスの利用者数の見込みについて伺う。

村長 村民には有効利用をお願いしたい。一日何名と言う目標はなく、具体的な予測数値は持っていない。



運行を開始した市営バス (バステイ高府)

問 数値目標がなければ何をもちって路線維持をするのか。数値目標は1人以上ではないのか伺う。

村長 数値目標は持っていない。初引方面からの

乗車が0人ということが続くなれば、走らせる必要はなくなる可能性がある。利用状況をみながら判断していく。

福祉大会

問 今年の福祉大会は開催されなかった。中止に至った理由と経緯を伺う。

村長 村政70周年記念のイベント、記念式典の日程が11月3日で、例年福祉大会が12月初めであり、開催日が近かった。社会福祉行政に貢献のあった方への感謝状も記念式典で贈呈し、講演も実施する事から見送った経過である。

問 福祉大会は、福祉の意識の高揚、世代間の交流の場であり、大きな役割を果たしている。式典とは全く意をなさないものである。単なる行事で終わらせることなく、継続的な取り組みが大事だと思いが考えを伺う。

村長 福祉大会はこれまでも継続してきた行事であるので、新年度復活し、開催していく。

問 70周年記念行事のまじめについて、成果と反省点について伺う。

村長 行事参加者については記念式典、講演会を含めて250名、桜ウィーク延べ1000人、大洞サマーフェスティバル500人で、おまつりリスペシャルは例年より1.5倍の参加者で3000人であった。



70周年記念式典で挨拶をする議長

総務課長 経費について申し上げます。記念式典講演会が133万円、桜ウィーク56万円、大洞サ

マーフェスティバル62万円、おまつりスペシャル280万円となっている。

問 それぞれの行事に課題があると思うが、整理して文書にまとめる考えがあるのか伺う。

村長 イベントに関して、それぞれの委員会があり、反省点、改善点を出して今後の開催に生かしていく。

小川村のPR活動

問 村として、観光協会、道の駅、商工会との連携は定期的に行われているのか伺う。

村長 観光協会としては委員の積極的な参加により活発になってきている。

問 活動は情報発信だけでなく受け入れ態勢の整備が重要である。現状の課題と問題点についてどのように認識しているのか伺う。

建設経済課長 旅館業の休業、廃業があり、受け入れ態勢は減少している。定期的な理事会を積極的に開き、企画を練り、年間を通じたイベント開催を進めていく。

問 PR活動として、総合戦略推進室としての考えを伺う。

総合戦略推進室長 移住体験ツアーや移住相談会等を通じて、東京や名古屋、他の地域にもいくつかのPRをしていく。

人口減少と

持続可能性

問 行政と村民が一体となって取り組む体制をどのように構築していくことが理想であるか、考えを伺う。

村長 一つのことの正解してもそれで人口が増える事はない。村民、行政が一体となって連携しながら、様々な分野で全体で、人口増に繋げていく。



鳥獣被害対策にガバメントハンター制度を導入しては如何か

村長 国の支援もあり積極的に取り組みたい

問 村の振興作物である蕎麦は反収が少なく、採算が合わず作付面積や収量が減少傾向であり、村内事業者の需要にも応えられていない状況である。

大豆などと同様に、種子の配布や補助単価引き上げなどの対策を講じて収穫量の確保を図っては如何か、考えを伺う。

村長 農業振興の補助事業については、農業推進協議会等でも議論や協議をしてきた経過であり、今後も意見を聞きながら蕎麦は重要な振興作物なので、種子の配布も含め増収に繋がるよう検討していきたい。

問 村内に1件ある加工業者は高齢で、後継者を探していると聞いている。

加工施設が村内に無くなれば利用者の不便だけでなく、作物の栽培意欲も減少し耕作放棄地の拡大にも繋がっていく。

技術の継承ができる今のうちに、農林公社みらいで加工施設を整えて、

業務を担ってはどうか考えを伺う。

理事長 一番の課題である農林公社で技術の伝承が可能かどうか、業者の意向も含めて理事会に諮り検討していきたい。

問 鳥獣被害対策として、電気柵の設置に加えて、根本的な対策としては個体数を減らす駆除であり、その役割を猟友会が担っている。しかし会員の高齢化がすすみ活動に苦慮されてきている。

鳥獣の専門知識を持ち自治体職員として活動するガバメントハンターを雇用して、地域の獣害対策全般を担ってもらってはどうか伺う。

村長 獣害対策は全国的に大変重要な課題であり、国もガバメントハンターや鳥獣害対策等の人件費について、交付税措置での支援を打ち出しており、村も可能なことから積極的に取り組んでいく。



村内各所に設置される電気柵

問 令和6年度に農業委員会が主体となり作成した地域計画を、今後どのように活用していくのか伺う。

村長 農地利用の10年後の地域計画であり、高齢化や人口減少が進む中で地域の農業を維持・発展させるために、農地の効果的な利用や担い手の確保などを地域で話し合っ

建設経済課長 地域計画作成地域は直接支払多面的機能支払交付金を受けている10地域で、面積は126.8ヘクタールとなっている。

問 現在、高齢者運転免許自主返納者に、2万円を1回限りで補助しているが、返納の決断を後押しする事にもつながるため、3年位は支援を続けはどうか、考えを伺う。

村長 あくまでもきっかけ作りの施策であり、支援の継続が免許自主返納者増に繋がるとは考えにくく、補助内容の拡充は考えていない。

問 高齢者の移動手段として大変便利であり、村内に多く普及しているシニアカーの購入時への補助制度創設について伺う。

村長 交通弱者の移動手段への支援でなく、介護用具や福祉的な視点から検討していく。



シニアカーでお出かけ

問 協力隊員の定住には生活基盤の確保が重要で、村のサポートが必要不可欠となる。定住率を上げるために今後どのように取り組むのか伺う。

村長 協力隊事業は定住が目的であり、3年間の内に基盤が確保できるように、それぞれの隊員の要望に沿って支援し、卒業後もできる範囲内でサポートしていく。

問 近年頻繁に起こり得る大災害時には人員不足が予想される。対策として村中を把握し、経験豊富で即戦力になる職員OBの力を活用できるような登録制度の創設について伺う。

村長 組織や委員会等では有識者として活躍している方もいる。

今後必要に応じてお願いはするが、事前に登録しての活用は考えていない。





「びっくらんど」の維持管理と運営方針は

村長 建設当時と同様、 早急に検討委員会を立ち上げる

公共施設

問 「びっくらんど」のプールにおける、認識を伺う。

教育長 「びっくらんど」のプールについては、議員が指摘されているように劣化状況が進んでおり、毎年修繕や機器の更新等が発生している。

ただ、この施設は教育施設でもあり、健康福祉の施設でもある。

管理運営は教育委員会で行っているが、多額の修繕等も掛かってくるなかで、今後の在り方については、教育委員会だけではなく、行政全体の問題として認識している。

問 「小川村公共施設個別施設計画」では、来年度からの施設維持改修試算額として、9億5000万円ほど掛かる試算となっており、電気機械設備の更新は、他の自治体のデータを見ると、4億

5億円は掛かると考える。「びっくらんど」の現状と試算金額を見ると、施設の維持管理の在り方、運営方針などについて諮問委員会等を立ち上げ、協議する必要があると考えるが如何か。

村長 建設当時、数十億円の建設費ということ

で、建設委員会を設置して議論し、協議をした。

庁内単独で、この大きな施設の今後について簡単に結論を出せないで、建設当時と同様、早急に委員会を立ち上げて検討する必要があると考える。



びっくらんど小川の室内プール

問 火葬場について施設の現状と認識を伺う。

村長 現状の維持管理等を踏まえると、村民にとって、この施設があるのは大変ありがたく、できる範囲で修繕、運営を継続して行きたいが、数

千万円掛かる様な大規模改修が必要になった際には、運営は取りやめたいと考える。



小川村火葬場

各施策

問 村営住宅の在り方を含め、建設の意義、建設するだけで良いのか、人口が増えれば、それだけで良いのか、そのような声を村内で聞く。「村民と議会の語る会」でも、

そのような声を何件かいただいているが、「村民の声」の受け止めと見解を伺う。

村長 人口減少対策で、

移住者等に、「小川村はこんなところですよ。さあ来てください」と言いながら、住むところがないのにとやうて人を寄せ

返った時に、空き家対策もそうかもしれないが、住宅建設は必要で、住宅政策はそれ相応の重要な政策だと考える。

問 有害鳥獣被害対策で、駆除隊が抱える課題として、近い将来現在の体制を維持できなくなるという課題があるが、原因が大きく分けると4点あると考える。

1点目が、高齢化と若手人材の不足、2点目が、ウクライナの戦争開始後から高騰を続けている弾代を含めた猟銃の維持管理の大変さと負担増、3点目が、1点目2点目を

基に、隊員の家族の理解、協力を得ることの難しさ、4点目が、村特有の地形の複雑さが相まって、経験を積むための時間が掛かり、自分と家族を犠牲にすること等があるが、体制維持の課題解決に向けた考えを伺う。

村長 人材育成に対する経費や人件費等も、交付税措置されることが、国の新年度予算の中では閣議決定されている。

村が、その財源を基にどんな対応ができるかは、実際に携わっている皆さんの意見等を聞きながら積極的に鳥獣害対策に取り組んでいきたいと考える。



有害鳥獣駆除活動に向かう駆除隊

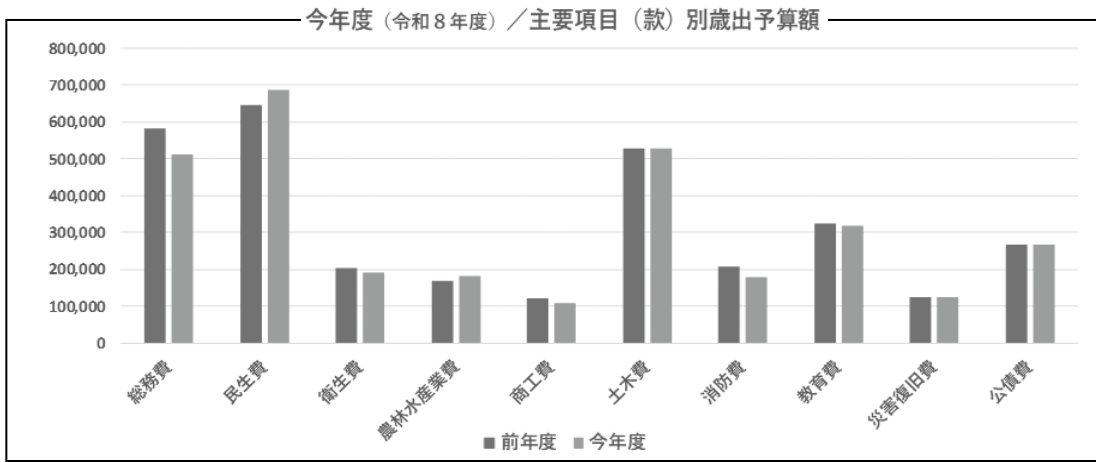
一 般 質 問
 まつもと としてる
 松本 敏照 議員



【令和8年度予算】ビジョンと目標施策は「人口減少対策」「自然環境・景観整備」「福祉政策」の要諦とは

村長 最重要課題=過疎対策／政策に優先順位なし

	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	その他	合 計
前年度	583,357	647,153	202,353	168,485	121,319	526,907	205,938	324,570	123,500	267,024	53,394	3,224,000
今年度	511,554	687,338	190,480	182,818	109,471	529,372	178,037	319,267	123,500	265,940	56,223	3,154,000
(前年比)	87.7%	106.2%	94.1%	108.5%	90.2%	100.5%	86.5%	98.4%	100.0%	99.6%	105.3%	97.8%



新年度予算の特徴
 問 新年度予算の根幹となる編成方針、及びトピックス（注目点）を伺う。

村長 新年度予算は政策的経費を除いた骨格予算を前提とする内容とし、地方創生に向けた人口減少対策に力を入れた。

住民福祉課長 誰でも通園制度の実施、すこやか成長祝い金の支給拡大、高齢者の補聴器購入補助、障害者福祉タクシー

総務課長 庁舎冷暖房用ボイラーの修繕、庁舎電話設備の更新、交通災害共済（全村民）掛け金の全額公費負担、長野市営バス高府線の運行経費負担などの必要経費を予算要求。

教育長 学校教育関係では、小中学校、校舎のLED化、小学校一人一台端末の更新、小学校給食費の保護者負担軽減、中学校給食費の半額補助、ICT環境整備・ソフト充実などの必要経費を予算要求。

課長 政策的経費を除き、行政施策に優先順位はない。
建設経済課長 観光費で観光協会の理事会定期開催、土木費で橋梁長寿命化計画策定費、簡易水道事業費で薬師浄水場の電気設備・機械設備更新などの必要経費を予算要求。

農林公社みらいの6部門と予算要求
 問 本村農林業の振興、農地の保全、遊休農地の解消などの地域活性化を担い、複数の公の施設において指定管理業務を行う「みらい」の予算編成方針を伺う。

教育長 ニーズがあれば前向きに検討する。

村営学習塾「未来塾」の拡充
 問 不登校の児童・生徒さん向けオンライン講座を含め、今後の未来塾の拡充について伺う。

利用補助増額などの必要経費を予算要求。

一般財団法人農林公社みらい（事業6部門）

農作業受託部門	堆肥センター運営部門	豆福亭などの加工施設部門
農器具管理部門	移住体験施設管理部門	薪の販売など農林産物販売部門

村営塾の利用実績（単位：人）／土曜未来塾

	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
令和4年度		2			3	3	8
令和5年度	4	1	4	3		7	19
令和6年度	5	2		2	5	5	19
令和7年度	1	3	2	3	1	4	14

副村長 農林公社に与えられた役割を果たし、不要な赤字を出さず、村には適正な負担を求めるところが基本方針。事業の骨子は右表のとおり。



村政在位での認識は如何か

村長 皆さんに大変にお世話になり有難かった

村政

問 長い行政経験の中で首長として、8年間在位の認識を伺う。

村長 それぞれの方々にお世話になり感謝を申し上げる。19歳より約40年間、職員を務めさせてもらった。この間、与えられた仕事をきっちりこなす様に務めて来たと思っている。その後首長としては、今までの経験からどうしても細かい事まで職員に口出しをしてしまう場面も有り、いやな思いもさせてしまった事があるかと、反省点も感じている。

また、若い頃より地域の方々にお世話になり有り難かったと感じている。地域や村全体の中で大きな財産と感じている。

問 今までの経緯の中で首長となつてから、一番違うと感じていることは何か。

合議制の議会と違い、独任制で一人での責任を負っている。職員は多様な思いがあったのではとの話があったが、その事については首長の立場では当然の場面もあると捉えている。

村民目線としては人懐っこい人間性の首長で、



議会場で答弁する染野村長

いい場面も有るが、遠慮も絡んで本音が言えない場合もあるかと思う。それらを踏まえて伺う。

村長 全てに責任はある。この思いは強い。過ちの大小や職員のミスも全て、私の責任であると思っている。様々な課題のある中での結果責任が全てだとも思っている。

首長として責任感という意味では、やっぱり孤独だとも思っている。

副村長

問 副村長という職務についての見解は如何か。

村長 前の伊藤村長の時に5年、副村長を務めさせて頂いた。私の村政になり、2期目の時に、どうして置かないのか。是非、置いてほしいとの声もあり、現状となっている。

副村長 4年のあいだ一緒に仕事をさせて頂いた。村長とは全責任を持つ中で、これ程大変な事

かと学ばせてもらった。だからこそ職員人事が出来るのだと一番感じたところである。

スーパー村長でも一人で行政は出来ない。分野と担当を分け、それぞれが仕事をしている。その人事と責任の全てを負っている。これが仕組みであり組織と認識している。

副村長の仕事としては、その組織をうまく回して行く事。村長と職員が互いに言いづらい事を、私が言うという立場だと思っている。部下の職員が言えない事を、村長に言わざるを得ない立場であるが、その点がいかにかなり欠けている部分かなと反省もしている。

村長が私の意見も聞いた上で最終責任をもって判断している事に感謝している。

民意の反映

問 村民の中に、行政ともしっかり話し合える場が欲しいとの意見も有る。現状では行政として、声が

有れば出向くと言う立場である。声なきところの生での肉声、少意見も拾い上げた、出前講座等を行い、民意の反映を図るべきと思うが如何か。

村長 かつては隔年で行政懇談会として、各地で行って来た。コロナ禍となり、各地で会合が行われない状況下で行政が行く事も出来ないのので止めた経過であった。

その後、コロナ禍も過ぎたところで、地区からの要請が有ればいつでも出かけていく事としている。任期終了後になるが、4月の区長会等で相談しながら進めていくべきと考えている。何れにしても課題もあると認識している。



行政の玄関役場出入口

委員会報告 総務建経常任委員会

閉会中の委員会活動
 2月5日(木)、委員5名のほか議長、委員外議員4名が出席し、長野市ジビエセンターの視察、所管事務調査を行なった。

《管外視察》
 長野市ジビエセンター
 (長野市中条)



ニホンジカの解体作業



衛生管理も充実した加工作業

施設は、農作物に被害を及ぼし有害鳥獣として捕獲されたニホンジカ・イノシシを新たな地域資源、ジビエとして無駄なく有効活用して農業被害及び捕獲者の労力の軽減と中山間地域の活性化を

衛生管理が充実しており、国産ジビエ認証、信州産シカ肉処理施設認証を取得している。
 令和7年5月からは、小川村で捕獲されたニホンジカも受入が開始された。既に6名の会員から56頭が搬入されて、捕獲者の労力軽減となった。

《所管事務調査》
 【総務課関係】
 ・第三次物価高騰対応生活応援商品券は、2月3

日現在の交付率90%。
 ・長野市営バスは、村から長野へ行く便が2便増の9便。長野から小川の便は1便増の8便となり、利用者の足が確保されたが、配車の都合で8時便の運行出来ないため、乗合タクシーは継続されるとの事であった。

【建設経済課関係】
 ・令和7年7月9日災害については3箇所で繰越の予定。
 ・大久保橋に係る交通止めの予定については、早急に工事スケジュールを確認して周知していきたいとの事であった。

・農物産館の指定管理者には、現在、応募者がなく、春頃まで募集は、保留しているとのこと。
 ・水道の断水復旧にかなりの時間を要し、住民から苦情も寄せられていた。ライフラインである水道施設なので、今後は復旧に時間を要しないよう、十分に注意したい旨の報告があった。

委員会報告 社会文教常任委員会

閉会中の委員会活動
 2月3日(火)、委員3名(欠席1名)のほか議長、委員外議員5名が出席し医療・介護の状況調査、学校給食の実食、所管事務調査を行なった。

《管内視察》
 学校給食の実食



学校給食 (この日はソフト麺)

現状と認識する。
 【住民福祉課関係】
 小川荘の突然の休業は、ボイラー周辺の機械が立て続けに不具合を起こし迷惑をかけているが、順次修繕し、営業していくので利用していただきたいとのこと。

《所管事務調査》
 医療・介護の体制
 ・診療所は専門診療の体制に近い体制である。
 ・糖尿と内科の患者が多いことへの対応として、予防事業に重点を置き、保健師、栄養士を配置している。

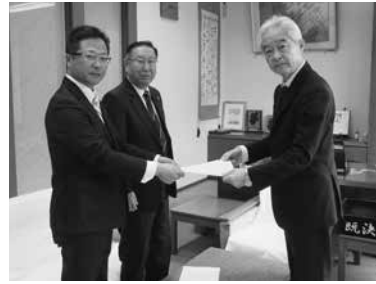
【教育委員会関係】
 物価高騰により、修学旅行にかかる費用も影響を受けている。
 広島へのバスは村から20万円を補助し、ひとり3万6000円の経費に對して、村は3万円の補助をしているとのこと
 で、平和教育への強い気持ちと保護者負担の軽減に取り組んでいることが知られた。

給食調理室隣デイルームで食べれば、食事時間増と友人の表情を見ながら食事ができ心の栄養もとれメリットが多いのではないかと考察するが、複雑な時間割の構成、黙食の名残等勘案しての

・介護に関しては、法律に定められた事業も村独自の事業もほぼ社協が受けて行なっている。
 ・賃金や施設についての認識は「充分ではないが他と比べて劣っているとまでは思っていない」との事



「村民の声」を 行政へ提出



取りまとめた意見を提出

11月30日に開催した、「村民と議会の語る会」で頂いた行政に対する意見を、広報公聴常任委員会と議会全員協議会にて協議精査し、取りまとめた意見書を、3月4日、西沢議長と山本広報公聴常任委員長で、村長室において、染野村長に提出しました。

「村民と議会の語る会」での参加者意見は、小川村公式ホームページにて掲載中です。

今後とも、村民の声を継続的に行政へ届ける為の、委員会活動を活性化していきます。

今年には村長選挙の年でありましたが、染野村長が無投票で3期目を務めることになりました。

3期連続の無投票当選となりましたが、今後の行政運営に期待したいと思えます。

ここ数年の村長選挙や議会議員選挙では無投票が続いています。選挙は民主主義の根幹をなすものであり、無投票が何回も続くのは喜ばれるものではなく、憲法の三大特徴の一つである「主権在民」の主権を放棄することにも繋がる恐れがあります。「自分たちの事は自分たちで決める。」そのため、代表者を決めるのが選挙であって、主権は村民にあります。

来年9月には村議会議員選挙が予定されています。小川村を更によくするためにも大勢の方が立候補することを願っています。

4月1日から初引・長野駅間を小川村と長野市が共同して路線バスを運行することになり、多くの村民から喜びの声が上がっています。

これまでのアルピコ交通の路線バスより長野行は2便増えて9便となり、しかも1便を除いて初引発着と

議長雑感

議長 西沢哲朗

なったので、小根山地区の人を始め多くの人が利用しやすくなったのではないのでしょうか。

今後の利用度によっては運行の見直しも考えられるので、大勢の人に利用してほしいと思えます。

「KURURUお出かけパスポート」を利用すれば長野まで300円で行けるため、70歳以上の方にはこのパスポートの取得をお勧めします。このパスポートにはSuica機能も付いていますのでさらに便利です。希望する方は役場で発行してもらえます。

今年の冬は雪が少なく、雪かき作業が少なく有難い反面、夏の水不足を心配しています。夏の水不足は、冬の雪の量だけでなく、今後の雨の量にもよりませんが、最近では梅雨の時期でさえろくに雨が降らず、降るときは豪雨となつて

災害を引き起こすなど、以前とは様相が変わつてきています。自然に逆らうことはできませんが、四季折々の安定した天気を望むものです。



議会の動き

2	1	3月	27	25	24	20	19	18	17	16	13	12	11	10	5	3	2月								
文化協会ステージ発表 本会議 一般質問			本会議 一般質問	本会議 議案説明 広報公聴常任委員会 本会議	3月定例会招集 全員協議会 本会議 議案説明 本会議 議案説明 広報公聴常任委員会 本会議	長野広域連合2月定 例議会	長野赤十字病院新病 院建設促進期成同盟会 広報公聴常任委員会 例月出納検査	総会 町村議会議長会定期 総会	副議長連絡会総会 議会広報クリニック 研修会 人権を尊重し差別の ない明るい小川村を 築く審議会	消防委員会 上水内郡町村議会議 正副議長連絡会総会 議会広報クリニック 研修会	観光協会理事会 さんさん市場総会 議会運営委員会 消防委員会	小川親交会 観光協会理事会 さんさん市場総会 議会運営委員会 消防委員会	小川親交会 観光協会理事会 さんさん市場総会 議会運営委員会 消防委員会	小川親交会 観光協会理事会 さんさん市場総会 議会運営委員会 消防委員会	総務建経常任委員会 長野広域連合議会議 運営委員会 小川親交会 観光協会理事会 さんさん市場総会 議会運営委員会 消防委員会	社会文教常任委員会 総務建経常任委員会 長野広域連合議会議 運営委員会 小川親交会 観光協会理事会 さんさん市場総会 議会運営委員会 消防委員会	社会文教常任委員会 包括医療協議会 総務建経常任委員会 熟年大学閉講式 おがわ未来塾閉講式 本会議 質疑 全員協議会								
			24	22	20	18	17	15	13	6	2	4月	27	23	20	18	17	12	11	10	7	6	5	4	
			本会議 一般質問	本会議 議案説明 本会議 議案説明 広報公聴常任委員会 本会議	3月定例会招集 全員協議会 本会議 議案説明 本会議 議案説明 広報公聴常任委員会 本会議	長野赤十字病院新病 院建設促進期成同盟会 広報公聴常任委員会 例月出納検査	総会 町村議会議長会定期 総会	副議長連絡会総会 議会広報クリニック 研修会 人権を尊重し差別の ない明るい小川村を 築く審議会	消防委員会 上水内郡町村議会議 正副議長連絡会総会 議会広報クリニック 研修会	新町病院運営委員会 本会議 討論・採決 広報公聴常任委員会 本会議	新町病院運営委員会 本会議 討論・採決 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議	小川村消防団出初式 例月出納検査 臨時議会 全員協議会 広報公聴常任委員会 本会議



村民の声

～村に思うこと～

「空き家のお宝」

稲丘東区

田澤 正信



先日、近所の方から「使わなくなった古い茶箆があるけど、いらないか」という話があり、

以前から古物好きの妻が見に行つてすぐに気に入って頂いてきました。

私は三年前に神奈川県から小川村に移住してきました。うちは古民家なのでこの家には以前使っていた家具がど

うもしくりこないあと思っていた矢先に頂いた茶箆を置いてみるととてもいい雰囲気になりました。このように古い茶箆などは味のあるアンティーク家具として人気があります。

村内には空き家も沢山ありこのように使わない家具や道具が山ほど眠っているのではないのでしょうか。空き家の持ち主さんはいない場合をもらってくれる人がいない場合は捨てるか解体して燃やすしかありません。しかし、世の中にはこのような古い物に興味を持つている人が沢山いて、そんな人にとってはそれがお宝なのではないでしょうか。特に古民家の空き家を探している人ならなおさらそんな人が多い

と思います。

村では空き家を売りたい、貸したい物件を募集していますが、それと同時に売りたい古い家具や道具等も募集してみてもおかがでしょうか。そして、それを空き家情報と同じようにパソコンで閲覧できるようにして販売するか、空き家購入者に希望があればお譲りするか、色々と活用方法があるのではと思います。



近所から頂いた味のある茶箆

「移住から34年」

川手区

田村 良太



私は34年前、イターンで小川村に移住してきました。当時は今ほどイターンという言葉も一般的でなく、縁もゆかりもない土地での生活に不安もありました。移住した当初は、地域の習慣や行事、近所づきあいなど、それまでの生活とは違うところが多く戸惑うこともありまし

た。しかし、地域の方々が温かく迎えてくださり、様々なことを教えていただきながら先人の後を追うようにして、この村の暮らしを学んできました。子どもたちが小さい頃には、近所のお年寄りの方々にもお世話になりました。日々見守っていただき、時には優しく声をかけ、時には叱ってくださいることもありました。私にとっては「第2、第3の父母」、子どもたちにとっては「第2、第3のジジババ」と呼べる存在であつたのだと思います。今では、子どもたちも成長し、それぞれの場所で家庭を持ち、暮らしています。小川村での経験は今も彼らの中で生き続けていると感じます。地域の中で育てて頂

いたことは、家族にとってかけがえのない財産です。歳月が流れ、この小川村は大切な故郷になりました。これまで支えて下さつた皆さんへの感謝の気持ちを胸に、これからも小川村の一員として、この温かなつながりを大切にしていきたいと思っています。



沢之宮小川神社御柱祭 (右から1人目が田村さん)

編集後記

4月18日の地震では幸いに大きな被害もなく安心しました。不安な気持ちもありますが、あらためて地震大国で暮らしているのだと気を引き締めました。

この地域で気持ちよく住み続けるために、議会広報誌には何ができるのか考え、広報公聴常任委員会とつた今、一歩一歩、亀の歩みを応援していただければと思います。

左の画像(QRコード)を携帯カメラで読み取ると、過去のデジタル版もご覧いただけます。



(塚田綾子)

広報公聴常任委員会
委員長 山本 陵
副委員長 塚田 綾子
委員 坂井 正
小林 和人
大久保利廣
松本 敏照

今後、村内各地に取材活動にお伺いします。ご協力お願いします。